

# 議会だよりの入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN

No. 142

2007年7月27日



夏だ・プールだ・楽しいな

6月定例会

|                  |       |        |
|------------------|-------|--------|
| 進む入中の耐震補強        | 請負契約  | 2P     |
| 豊進丸の拿捕事件 早期解決を   | 請願・陳情 | 3P     |
| 国民年金台帳を保管        | 常任委員会 | 4P     |
| 町政を問う 一般質問(9議員)  |       | 5P~13P |
| 入善町に移り住んで・入善むかし話 |       | 14P    |

# 入善中学校 普通教室棟 耐震補強・大規模改造に着手

6月議会の  
あらまし

6月議会は、5日から15日までの11日間開会し、町長から提案のあった平成19年度補正予算、条例の一部改正、専決事項の承認、工事の請負契約、黒東合口用水組合議会議員の選挙、議員提出議案を審議し、すべて可決した。

また、請願2件、陳情1件を審査したほか、8日と11日に一般質問が行われ、9人の議員が質問に立ち、論戦が交わされた。

## 補正予算の概要

小学校の英会話教育推進事業に  
92万円

国の委託事業で、上青小学校が県内の拠点校に指定されたことから英語活動での指導方法を研究する。

総合体育館にトレーニング器具  
設置  
100万円

飯野地区笹原在住の、竹島正隆氏からのご寄付で、総合体育館にトレーニング器具を設置し、利用者の要望に応える。

このことにより、一般会計で192万円の補正となり、総額は104億3078万円となった。

## 条例の一部改正



導入されたランニングマシン

「国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律」の一部改正に伴い「各種委員会委員等の報酬及び費用弁償並びに実費弁償支給条例」の一部改正を可決した。

このことにより選挙長などの報酬が減額となる。

## 財産の取得

新しい消火システムの  
消防ポンプ自動車を購入

消火活動の強化を図るため、空気泡圧縮消火装置など、新しい消火システムをそなえた消防ポンプ自動車の取得を可決した。

契約者 株式会社モリタ 富山営業所  
契約金額 3570万円

## 工事の請負

次の工事請負契約について可決した。

入善中学校 普通教室棟耐震補強及び  
トイレ棟大規模改造工事 建築主体工事  
請負契約

請負者 吉原建設・モリタ建設  
共同企業体  
請負金額 8505万円

## 請願・陳情

入善6区地内交通安全対策の請願

請願者 入善6区区长

歩行者の安全と車のスムーズな通行を図るため、危険箇所への安全対策を求める請願。

賛成全員で採択とした

入善6区地内側溝等改修工事の請願

請願者 入善6区区长

側溝などの老朽化による不良箇所について、早期の改善を求める請願。

賛成全員で採択とした

富山県の最低賃金を、安心してくらす水準に上げるための陳情

陳情者 富山県労働組合総連合

最低賃金を引上げることによって、県内労働者の生活改善を求める陳情。

反対多数で不採択とした

## 議員提出議案

第八十八豊進丸拿捕事件の早期解決を求める意見書

平成19年6月1日に、入善町を船籍とする中型さけます流し網漁船第八十八豊進丸が、ロシア国境警備局に拿捕された事件について、早期に解決されるよう、国に意見書を提出する。

賛成全員で採択とした

立山・黒部地域の世界文化遺産登録を求める決議

世界に誇る豊かな自然と雄大な景観を有する立山・黒部地域は、わが国を代表する山岳観光地であることから、この地域の世界文化遺産登録実現に向け、立山・黒部地域4市4町1村議会と連携を図りながら、関係機関に強く要請する。

賛成全員で可決した

## 黒東合口用水組合

### 議会議員の選挙

平成19年7月26日で任期満了となる15名の組合議会議員を選挙した結果、次の15人が当選した。

|           |        |
|-----------|--------|
| 五十里 隆 章 氏 | (東五十里) |
| 上田 健 次 氏  | (入 膳)  |
| 元 島 正 隆 氏 | (上 野)  |
| 中 瀬 範 幸 氏 | (上 野)  |
| 松 澤 孝 浩 氏 | (青 木)  |
| 本 多 幸 男 氏 | (上飯野)  |
| 若 島 信 行 氏 | (福島新)  |
| 寺 林 秋 夫 氏 | (新 屋)  |
| 中 山 準 氏   | (墓ノ木)  |
| 藤 田 重 吉 氏 | (新 屋)  |
| 杉 田 芳 郎 氏 | (小 杉)  |
| 谷 口 一 男 氏 | (栢 山)  |
| 佐 藤 一 仁 氏 | (横 山)  |
| 小 森 弘 義 氏 | (舟 見)  |
| 坂 東 久 男 氏 | (西 中)  |

# 常任委員会レポート

## 総務 常任委員会

風力発電の風車の音に苦情はあるか

Q 風力発電の風車が風を切る音について、苦情は出ているか。

A 昼は、感じない。夜についても、近所の方の話では感じられないとの事。

国民年金台帳の保管について

Q 町は、国民年金台帳について保管管理しているのか。



クリーンエネルギーの風力発電

A 平成13年度分までの記録は紙ベースの被保険者名簿で保管している。それ以降は社会保険庁での保管となる。

選挙開票のスピード化について説明せよ

Q 町は選挙開票のスピード化に取組んでいるがその内容は、

A 結果の速やかな報告、経費の軽減、職員の負担軽減について考えている。

職員の服装、会場レイアウト、カウンター機の増設など改善を進めたい。

## こんな意見も

◎町長車購入時は、環境を考慮してハイブリット車を検討してほしい。

◎請願に出ているような通学路の危険箇所を現地確認し、早急に対応せよ。

◎運動公園で犬を散歩させ、糞、尿を排泄している。禁止の徹底をせよ。

## 産業教育 常任委員会

小学校の英会話教育推進事業とは

Q 「英語活動等国際理解活動推進事業」は、いかなる事業なのか。

A 国際化が進む中、子ども達が日常的な英会話ができるように、ALTや地域の英語の堪能な方を講師に



楽しく学ぶ英会話教室（上青小学校6年生）

招いて取組む2カ年事業である。

拠点として県下5校の中に、上青小学校が指定され、英語活動での指導方法を研究する。

竹島正隆氏の寄付金で何を購入したか

Q 寄付金で購入したトレーニング器具

とは何か。

A 現在体育館に設置してあるランニングマシンである。

従来1台しかなく、好評で待ち時間が多く、利便性を図るため、今回、1台追加購入した。

バイオ燃料の原料として

転作田に稲の作付けを検討せよ

農水商工 国・県の動向を見極めつつ  
課長 検討していきたい

問 転作物に、バイオマス燃料の原料や飼料作物として、稲の作付けを検討する価値はないか。そうすれば今の農機具などがそのまま使える。これらの原料供給地と

して町の将来展望につながるかと考えられないか。寺崎農水商工課長 飼料用米については、関係機関と慎重に協議をしてみよう。価値はある。



大豆の土寄せ作業

バイオマス燃料については、国・県の動向を見極めつつ、他の原料とあわせて検討していかねばならないと考える。問 3年に1度の転作で大豆は収量も品質も低下しており、地力低下が懸念される。地力増進に1年かけて緑肥栽培するために、奨励金制度が必要だ。国・県に要請し、町も独自に支援すべきだ。農水商工課長 今後、慎重に協議・検討していかねばならない。

野生動物保護管理システムが必要である

体制づくりを進め住民意識を高めていきたい

問 クマやサルなどの対策に、野生動物などの生息・生育環境の保全、乱獲防止、適切な野生動物保護管理の理念と専門職員の配置が必要だ。県の野生動物係は「専門指導員を配置し、野生鳥獣管理員を2名にした。地元の大学にも研究を働きかけている」と述べた。県と連携し町は何を担うのか対策を急ぐべきだ。米澤町長 野生動物保護

管理を推進する政策が必要となっている。

今年、舟見・野中地区を中心に「入善町野生鳥獣被害対策連絡協議会」を設立した。

この会を拠点に県の専門職員と協働し、野生動物保護管理の体制づくりを進め、地域住民の意識を高めていきたい。

施設入所の障害者が行き場を失わないように

安心して地域生活ができるよう努めたい

問 障害者自立支援法では重度の人しか施設にいられなくなる。新川むつみ園の入所者80人のうち重度の30人以外は、2011年度末以降、行き場を失うのではと不安が広がっている。厚生労働省は「昨年、国会で大臣が、5年後に行き先がない人が出ないようにしたい」と答弁した。

それを受け部内で検討している」と述べた。

改善を国に積極的に要求すべきだ。

笹島健康福祉課長 障害者が親なき後も、安心して地域生活ができる安全・安心のまちづくりに努めていきたい。

歴史的文化的遺産を活かしたまちづくりを

文化財保存・活用に力を入れていきたい

問 歴史的文化的遺産の名残が舟見の七夕まつりや枳形である。舟見の歴史と文化を再評価することは、行政として文化的水準を高めることにならないか。歴史的文化的遺産を活かしたまちづくり対策が必要ではないか。米島教育長 指定文化財の管理費補助など文化財保存、活用に力を入れていきたい。地域住民の協力が不可欠である。



九里 郁子 議員



谷口 一男 議員

## 「農地・水・環境保全向上対策事業」に 取り組む町の基本的考えは

### 町長 県と協力し事業推進に努力する

問 「農地・水・環境保全向上対策事業」は国の地域振興政策としての施策であり、集落機能の回復や地域資源・環境の維持・向上に期待されている。

町の取組みはどうであったか。交付申請地区は何地区になったのか。

町長 4月より全地区の町長、生産組合代表、土地改良組合理事への説明を行った。また、地区単位で要望があれば出前講座形式で説明を重ねてきた。



みんなで江ざらい 環境保全

10ヶ当たり4400円は魅力ではあるが、農家と非農家との共同の取組み、事業活動の必須項目の遂行、事務処理の煩雑さ、5年間の継続実施などで各地区の事業への取組みが慎重になったと推察される。

実施面積は360㌆で9地区6活動組織を構成し、承認申請を提出した。

#### 春作業の総括をしたか

田植時期の繰下げは成果があった

問 町での田植えの繰下げ状況や春作業の総括を聞きたい。

農水商工課長 本年より農薬節減に取組み、種子消毒を温湯方式に切替えたが問題はなかった。

田植えの繰下げは、農業者や関係機関の協力で約80%の成果を上げた。

菜種栽培に町はどのように対応していくのか

乾燥調整設備導入と種子代（秋播）に助成

問 温暖化対策で、菜種

栽培が導入された。これは観光にもつながると思う。今後、町はどのように対応していくのか。

農水商工課長 昨年、JAみな穂が中心となりプロジェクトチームをつくり11㌆の転作田に菜種の播種をした。

収穫後は菜種として販売、一部は食用油として学校給食などで利用する。

使用済みの廃食油を回収して精製処理し、農業機械の燃料として利用することも考えている。

本年度は乾燥調整設備導入に助成する。また、菜種栽培の面積拡大を図るため、種子代について助成していく。

品目横断対策、第2次加入申請受付状況は

みな穂農協で代行申請を進めている

問 品目横断的経営安定

対策の2次加入申請の締め切りは7月2日までだ。

加入できる経営体の数や面積の状況はどうか。

農水商工課長 加入要件をクリアできる個人、団体あわせて80の経営体がある。

19年産大麦は1次申請で22経営体の130㌆、全て加入した。

第2次加入申請では、19年産米作付予定面積2640㌆中、43%が加入要件を満たしている。大豆作付面積570㌆は、ほぼ100%担い手に集約されている。

町全体の水田面積3730㌆中、米・麦・大豆合わせて1830㌆、約50%が品目横断の加入となる。

対象漏れが無いように関係機関と連携し、加入申請を進めていく。

# 「多重債務問題改善プログラム」町の取組みは 町長 「生活安全相談窓口」を町民に 周知していく



役場の生活安全相談窓口

問 昨年、貸金業法改正があり、今年4月「多重債務問題改善プログラム」が決定した。この中の1つの柱として、相談窓口の整備・強化があげられているが、町の取組

みを示せ。

町長 住民環境課に「生活安全アドバイザー」を配置し、住民の相談にあ

せて。小森教育委員会事務局長 栄養教諭は入善西中学校と上青小学校の兼務で1名配置されている。

たっている。多重債務者を発見した場合、問題を解決する方策を検討・助言してくれる機関を紹介し、誘導している。

問題を1人で抱え込まず、相談しやすい窓口として町の「生活安全相談窓口」を町民に周知していきたい。

## 食育運動の推進を

### 町の重点施策の1つ

問 食育運動の一層の推進を求め、今年配置された栄養教諭の取組みを示

せ。教育委員会事務局 学

①給食の時間に、食品の栄養的な働きや地場産についての説明をする。  
②各教科の食材に関連する授業で指導を行う。  
③野菜の栽培体験や調理実習などの体験型食農教育の実践などに関わっている。

問 子どものメタボリックシンドロームを防ぐため、地産地消を進める和食中心の食生活を求める。

には、糖質・たんぱく質・脂肪などの栄養価のバランスがとれた献立をつくっている。子どものメタボリックシンドロームについては、脂質や砂糖の摂り過ぎが大きな原因ではないかと考えられる。予防としては、  
①野菜（きのこ・海藻を含む）たっぷりのおかずを1日5皿食べる。  
②朝食を抜かない。  
③おやつは甘味を含んだ飲み物・塩分の多いものを減らす。  
④寝る2時間前までに食べ終える。

子どもが1年間に食べる食事は365日の3倍で1095食。学校給食は1年間に190食前後で、全体の約5分の1。したがって家庭での食生活がとても重要になる。町では「食育の推進」を

町の重点施策の1つとして掲げ、県内でもいち早く食育に関する様々な施策を展開している。

## 介護サービスにおける現状と今後の対応は

### ケアマネジメントの質の向上を図っていく

問 1人暮らし、老々介護者などに病院からは退院を勧められ、行き場所がない。

介護される側には障害者、重度の持病持ち、認知症の方もいる。どう対処するのか。

健康福祉課長 居宅サービス利用は年々増加傾向にあり、施設サービスは常に満床である。

指摘のような困難なケースも含め、対応としてはケアマネジメントの質の向上を図り、安定した在宅での介護を図る。



大橋 美椰子 議員



松沢 孝浩 議員

保育所の統廃合に関する基本姿勢を示せ

町長 1小学校1保育所を将来像とし  
計画的な統廃合整備を進める

問 吉原保育所は築36年経過し、児童数は、かつての40名規模から13名へと減少し、今年3月に休止した。

町内13施設の保育所運営を含め、施設の統廃合に関する基本姿勢を示せ。

町長 大切な子どもを安心して生み育てることのできる環境づくりは、町の重要施策の1つだ。

保育に於ける現況は、  
・少子化に伴う児童数の減少  
・多様化する保育サービスへの対応と維持  
・老朽化した保育所施設の建替え

など、保育環境の整備が求められている。  
また、保育ニーズに対応したサービスの確保などから、一定規模を維持することが必要と考える。

保育所の統廃合に関する基本姿勢として、町は1小学校1保育所を将来

像として、計画的な統廃合整備を進める。

保育所施設整備に伴う財政計画は

起債事業による財源で確保

問 保育所施設建設を支える財源の確保と財政計画を示せ。

鍋谷企画財政課長 「三位一体の改革」で保育所建設に伴う国の補助金制度が廃止された。

したがって、起債による財源の確保を余儀なくされた。しかも、保育所定数、基準単価・面積などによる制限もある。

建設費の一部を借入れ、

残りを一般財源で賄うことから、町の財政運営に大きな負担にならないように配慮する。

舟見・野中の保育所整備計画を示せ

ひばり野小学校に隣接、平成21年に開所

問 今年度予算で、舟見・野中の保育所整備に関する基本・実施設設計が計上されている。

その計画を示せ。

健康福祉課長 ひばり野小学校に隣接して、舟見・野中の統合保育所を建設し、平成21年4月に開所を予定している。

幼・保・小の連携による様々なメリットに期待している。学校敷地内の遊具や広場などを活用し、

交流を図ることができ、こどもの育成などに相乗効果が得られるものと期待される。

また、ひばり野小学校は、生徒が年々減少しており、その分調理室にも余裕がある。保育所児童分の調理が可能であり、施設の有効活用を図る。

小学校での保育所の調理は共同調理か

同じ所でつくれば共同調理

問 小学校で保育所の調理を行うと、共同調理になるのか。

教育長 指揮・監督の責任の違う組織が同じところでやれば、共同調理方式である。



お母さんのお迎え うれしいな



## 並行在来線対策を今後どのように進めるのか 町長 サービス後退にならないよう 近隣市町とも連携する



普工またれる 8号バイパス

問 入善町はかつて新幹線事業を承認するか否かの決断を迫られた時に「在来線を切り捨てない」という条件付で、県下で一番最後に苦渋の選択を

した町である。

並行在来線対策を、今後どのように進めるのか。

町長 県は17年7月に「富山県並行在来線対策協議会」を設置し、経営分離後のあり方について検討をはじめている。

入善町の意見をしっかりと要望するためにも、町民の各界各層による組織づくりを検討したい。

特に、県東部の利用者が県西部に比べて少ないことから、利用者へのサービス後退にならないよう近隣市町とも十分連携して対応していきたい。

### 駅駐車場利用の改善策を示せ

採算性などを検討し、駐車場の利用率を上げたい

問 入善駅・西入善駅の月極め駐車場の料金は、民間と格差がある。民間並みに値下げして、全区画を満杯にする改善策を実施する考えはないか。

農水商工課長 入善駅西駐車場と西入善駅町営駐車場の利用率は75%である。料金は概ね民間と500円の格差がある。

今後、採算性や事業効果など検証を加え、駐車場の利用率を上げる方策を立てたい。

都市計画中央通り線を早く完成させよ

平成20年まで完成させるために努力している

問 入善駅から国道8号まで、永年努力してきたがどこに問題があるのか。完成見通しについて町民に明確に示されたい。

林副町長 残り280mの区間は平成9年度から取組んでいるが、用地交渉が難航している。平成20年度完成に向けて誠心誠意、用地交渉を進めたい。

国道8号バイパスの全線開通はいつ頃か

用地買収64%、開通は平成26年度を目指す

問 黒部市古御堂から魚津市江口までの土地買収の進捗率はどうか。全線開通をいつ頃と想定しているのか。

副町長 古御堂から江口まで7・3kmあり、国、関係市が努力しており、用地買収は18年度末で、面積比64%となっている。平成26年度の北陸新幹線開業までには完成すると聞いている。

新幹線新駅に町はどのようにかわるのか  
町の利便性の向上を要望している

問 入善町は、新幹線新駅の利用にどのようなかわるのか。

また、新駅の名称に入善町の意見が反映できるのか。  
副町長 入善町の利便性向上策はその都度要望している。

なお新駅の名称はJR西日本が決定するものであり、現時点では決まっていない。



本多 幸男 議員



バイオエネルギーとして期待される菜種の種り入れ

## 地球温暖化対策に町長のリーダーシップを示せ 町長 身近なことから積極的に取り組んでいく



中瀬 範幸 議員

問 地球温暖化対策として政府は「国民運動」を呼びかけ展開している。エコネットタウンを目指す町長は、率先してリーダーシップを示すべきである。

町長 次代を担う子ども達のためにも、この美しい自然と環境を残す地球温暖化防止対策に取り組まなければならない。

県民運動「とやまエコアクト10」への町民参加、小学生の「とやま環境チヤレンジ10」への参加など身近なことから考え、実践していきたい。

町では屋外施設のライトアップ時間の短縮、「クリーン入替7129作戦」など積極的に取り組んでいきたい。

「クリーンエネルギーの町」のビジョンを示せ

総合計画の中で位置づけて進めている

問 町では、菜種による

バイオ、太陽光発電、風力発電などに取組み始めた。更に黒部川扇状地は小水力発電の最適地といわれている。

これらに総合的に取り組む「クリーンエネルギーの町」としてのビジョンを示して取組め。

副町長 町では総合計画の中でも位置づけており、

柳山公民館の太陽光発電、浄化センターの風力発電、建設中の「うるおい館」の太陽光発電など公共施設でのクリーンエネルギーの導入に対応してきた。

また、バイオマス資源として効用の高い菜種栽培を活用した「資源循環型農業」にも支援を行っている。

問

水の町入替として小水力発電に取り組め町の特性を活かせる事業で今後検討したい

問 全国的に、小水力発電への取組みが進み、法整備もされてきた。

黒部川扇状地研究所では「らせん水車による小水力発電」の研究テーマに取り組む。水の町入替としても是非とも積極的に取り組むべきだ。

副町長 黒部川扇状地の特性や農業水路が整備されていること、豊富な水量と流速などからも、未利用エネルギーの宝庫といわれている。

水利権の問題、かんがい期・非かんがい期での水量の格差、ごみ対策などの施設維持管理など課題も多い。

しかし、小水力発電は町の特性を活かせる可能性のある事業であり、今後導入についても十分検討したい。

討したい。

生ゴミ処理機デイスポーター設置の課題は設備費や処理の課題はあるが検討したい

問 町の生ゴミ処理機の設置状況はどうか。

魚津市では下水道管に直接流すデイスポーターの使用が始まった。町での採用の課題を示せ。

金沢住環境課長 平成5年から生ゴミ処理機の補助金制度が始まり、限度2万円まで1460基の設置となっている。

デイスポーターは野菜くずや魚の骨など、生ゴミを砕いて下水管に直接流す装置であるが、悪臭の発生が懸念される。

町では、下水処理の負荷や汚泥処理などの課題が多くある。

将来生ゴミを減量するための一つとして、検討していきたい。

## 北陸本線分離の際は

### JR資産の無償譲渡を求めよ

企画財政課長 **無償または運営会社の経営を圧迫しないような譲渡を求めよ**



町民の大切な足 北陸本線(西入善駅)

問 北陸本線は、7年後に県や市町村による第3セクターで経営される。4年ほどで運営方針を決めなければならぬが、町はどう考えているのか。すでに分離並行在来線

を運営する会社は、どれもJR資産購入が、経営を圧迫している。JRは、在来線の儲からない部分を地方に押し付けている。北陸本線分離では、資産の無償譲渡を求めよ。

ビス後退のないよう要望する。資産の無償譲渡なども要望していきたい。魚津市の要望については、町として検討するところがあれば、県に働きかける。

魚津市議会は、富山地鉄と在来線との相互乗り入れなどの検討を県に要望したが、町でも検討する価値はないか。

西入善駅のトイレの水酸化については、JRと協議している。

西入善駅トイレの水酸化の見直しはどうか。JRが分離を見越し、すべきことを怠らないよう注意せよ。

アワビ養殖の新実験、うまくいかなければどうする  
**必ず成功すると信じている**

企画財政課長 県や市町村などによる「並行在来線対策協議会」で、経営のあり方などについて協議を重ね、利用者にサー

問 深層水事業に16億2500万円も投入した。2003年のアワビの養殖などで、町は漁協の赤字補てんに5000万円を提供し、別に1000

万円で実験を行ったが、養殖場での養殖は休止状態だ。

今年、漁協は1200万円をかけ新たに実験を行うが、その内の800万円が町の補助だ。

実験が成功することに越したことはないが、採算が取れなければどうするのか。

農水商工課長 必ず成功すると信じている。

漁協は、うまくいかなければ、その原因を追究・解明し、改善していきたいとしている。

宇奈月ダム建設費を町に負担させるな

県などと協議し、国に要請した

問 宇奈月ダムは魚津市以東の上水道の水源であるとして、町に6800万円の建設費の負担が求められている。

今は国が「水環境改善事業」で水道分の水を黒部川に流しており、町負担はない。しかし、この事業は今年度で終わる。町にダムの水を使う上水道計画はない。町に建設費の負担をさせないこと、及び「水環境改善事業」の継続を国と県に求めよ。

西田下水道課長 水道用水の利用計画や負担の見通しが立たず、県及び2市2町で協議し、事業継続を国に要請した。

問 黒部川のダム排砂・通砂は、より自然に近づけるために、年間を通して一定の出水時ごとに行うべきだ。

福島建設課長 現在の方法は、時間をかけ関係者との話し合いでつくってきたもの。これを踏まえ、より適正なダム排砂につながるよう関係機関に働きかけたい。



松田 俊弘 議員



しっかり勉強1年生（ひばり野小学校）

問 本年度の予算執行では、一時借入金なしで執行する自信があるか。愛場会計管理者 町は制度上の一時借入金は、過去10年行っていない。

**過去10年間は、今後も適切な運営をする**

**借り入れなしで予算執行できるか**

答 総合的には、町の財政は、健全かつ弾力性があると判断している。

問 財政力指数は県内の平均的な数値だ。地方債残高は、一般会計で町民1人あたり41万円余り、県内で4番目に少ない。減債基金の残高は県下で3番目に多い。

## 町の財政実態は健全か 副町長 総体的には健全かつ弾力性がある

問 「ふるさと税」創設について町長の所感を問う。町長 検討中の案では、自治体固有の財源を自治体間で奪い合うことにもなりかねない。都市と地方の格差解消がこの制度で図られるか疑問である。現段階では内容が不透明で、議論の推移を見守りたい。

**「ふるさと税」創設について町長の所感を示せ  
現段階では内容が不透明で、推移を見たい**

答 今後も、収入と支払いのバランスを的確に把握しながら、一時借入金なしで執行していくつもりだ。

問 ゆとり教育の功罪と今後の方向は

答 ゆとり教育は、「生きる力」を育むことをねらい、体験を重視した教育の実現にある。しかし、その成果が十分上げられないまま、子供たちの心に起因する問題行動の多発や学力・学習意欲の低下など、多くの課題が生じてきた。要因としては、ゆとり教育は学校だけでなく、保護者、地域が一体となつて行わなければならないが、その体制が整わないうちにスタートしたことにある。

問 学校教育では、学校5日制の中でどう学力を高めるかの十分な準備がなかつたことがあげられる。

答 国は責任をもって十分協議し、拙速な改革とならないよう願っている。地域の教育力の再生も大切である。信念を持つた心の教育を行い、原点である家庭教育の重要性を訴え、力を合わせて進めていきたい。

**課題が生じたが学力向上と心の充実に努める**

**ゆとり教育の功罪と今後の方向は**

問 全国学力テストの結果を公表せよ。

答 本調査は学力の特定の一部の調査に過ぎず、今回の結果のみでいたずらに競争心をあおったり、学校のランク付けなど行われたいよう、個々の生徒名や学校名を明らかにした結果公表は避けたい。

問 全国学力テストの結果を公表せよ。

答 全国学力テストの結果を公表せよ。  
**個々の生徒名や学校名の公表は避けたい**



大林 政雄 議員

## 職員への人事異動には公平公正を 総務課長 勤務評定に基づき適材適所に配置



職員の接遇研修

問 今年度の職員異動方針は、私情をはさむことなく、公平公正に行われたか。

西川総務課長 平成17年3月に策定した第3次職員定数管理計画を踏まえ

て、職員を増やすことなく、計画的に職員数を削減しつつも、業務拡大に対応するよう取組みを進めている。

異動に際しては、例年1月に管理職を除く全職員より、異動希望を含めた人事異動に関する自己申告書の提出を求めている。さらに、定期的に実施している勤務評定に基づき、職員の適材適所となるよう公平公正に行っている。

### 固定資産税の課税対象の把握は

法務局の異動通知書と  
現地調査を行っている

問 固定資産税の課税対象の把握は、どのように行っているか。

真岩税務課長 土地や家屋については、法務局から通知される異動通知書によって把握している。

土地登記簿上の地目と現況地目とは一致していない場合があるため、現況調査を行っている。

家屋については、未登記の家屋は所有者からの連絡、航空写真や担当職員の定期的な町内巡回によって、課税対象家屋の

把握に努めている。

償却資産は、事業者が事業の用に供する事業用資産として町へ申告することが義務付けられている。

償却資産台帳、明細書の確認、必要に応じて現地確認など行っている。

### 違法建築物の把握は

職員が定期的に巡回し  
把握に努めている

問 10㎡以上の建築物を建設しても、建設確認申請を提出しない違法建築物の場合の対応は。

税務課長 担当職員が担当地区を定期的に巡回し新たな建物が建設されて

いるか、増改築が行われているかなど、課税対象の把握に努めている。

課税もれないよう、年間を通じて巡回調査を行っており、平成18年度において、10㎡以下を含めて、12件を調査把握した。



上野 等 議員

## 子育てで大忙し

入善町に移り住んで

長谷 真理子さん

入善町浦山新 在住



中国の黒竜江省から来て4年半になります。最初は留学生として山梨にいましたが、縁あって入善町にお嫁にきました。

ここでの生活はまだ2年半ほどで、最初は入善の方言が分からず、他の人が何を言っているのかほとんど理解できませんでした。最近ようやく慣れて、大体分かるようになりました。

この印象としては、雪がとて多いことですね。写真を撮って実家に送ったら家族のみんながびっくりしていました。

また、ジャンボ西瓜の大きさにも驚きで、あれだけ大きな西瓜は初めて見ました。

あと、魚屋さんが多いですね。実家は内陸の方だったので魚はあまり売っていません。山梨もここほど魚屋さ

んは見かけませんでした。こちらに来てからいろいろ魚料理を食べるようになり、自分でもつくるようになりました。

思いがけず苦労したのが就職です。今まではずっと大都市にいたので仕事を探すのに苦労しなかったのですが、入善町に来てからはなかなか自分に合った仕事が見つかりません。そういうところはちょっと不便だと思います。

今は、去年の夏に生まれた長女の子育てで大忙しの毎日を送っています。家の中を這い回って何でも口に入れるので、片時も目が離せません。

入善町では小学校3年生までの子どもの医療費を助成してもらえますので、何かあっても安心できます。

毎日を頑張って生活していますので、これからもよろしくお願ひします。

## 入善のむかし話 (森 清松編より)

### 「免切りの御講」

むかしは五公五民といつて、とれたお米の五割(半分)を税として殿さまにさしだしました。だから、百しようの生活は、いつも苦しく、みんな、つかれはてていました。

それを見た、入善十村の手代、嘉右衛門という人が、ねっしんにお上におねがいをし、ようやく四公六民に減らしてもらいました。

道市の人たちは、たいへん喜んで、さっそく減免の式をあげました。(享保四年ごろ)

仏さまの前に、さらし木綿をさげ、おごそかな式のと、はさみで切りおとして(免を切る——綿を切る)おわりとしました。

やがて、年貢米をまけてもらつたしるしとして、百しようたちが一番たいせつにしている仏さまを、道市の人たちの身代りとして、岩瀬の役所へ送りました。その日が十九日だったので、それからは、毎月その日に免切り御講がおこなわれています。

ぜんぶの家から白米四合ずつ持ちより、当番の家で、お坊さんの法話をききながら会食をするのです。これは、仏さまのご恩にむくいるための、うるわしい行事として今につたわっています。

## 編集の窓

税源移譲によって住民税の納付額が増えた。合わせて平成11年から続いていた定率減税が廃止。更に富山県「水と緑の森づくり税」として、個人で500円が加算される。夫婦と子どもふたりの年収500万円の世帯で年1万8000円の税負担増と試算されている。

一段と財布の中味が少なくなり、生活への不安がつゆる。「ピカッ」と光るので、ふと目を海側に向けると、力強く大きな白い羽が回っている。

議員一人ひとりも風車のように日々活動し、町民の皆さんが住みやすいまちづくりに努めたいと決意している。

### 議会広報編集特別委員会

|      |       |
|------|-------|
| 議長   | 元島 正隆 |
| 委員長  | 松澤 孝浩 |
| 副委員長 | 松田 俊弘 |
| 委員   | 大橋美椰子 |
| "    | 長田 武志 |
| "    | 中瀬 範幸 |
| "    | 鬼原 征彦 |

地球にやさしい再生紙を使用しています